

# 行政報告

## 大館樹海ドーム

# 利用者20万人突破

# 市議会 3月 定例会

市議会三月定例会が三月四日に招集され、小畑市長が行政報告をしました。その中から、主なものの要旨をお伝えします。

## ミスが無いように チェックします

昨年発生した農地転用問題をはじめとする市役所の日常業務におけるミスについて、そのチェック体制に甘さがあったのではないかとこの指摘が、議会などからありました。そこで、庁内組織である事務改善委員会でチェック体制のありかたについて検討した結果、当面つぎのことを徹底することとしました。

- ・各課において定期的に事務打ち合せ会を開催することにより、各業務の進行管理の徹底を図る。
- ・事業の推進にあたって課題が生じたときは、部、課において対応策を検討、協議し、庁議や部長会議に報告する。
- ・重要事項の決裁文書は持ち回りのうえ、起案内容や事情の説明を徹底する。
- ・決裁文書の合議を受けた課は、事業を推進するうえでの課題などがあるときは、積極的に意見を記載するようにする。起案課

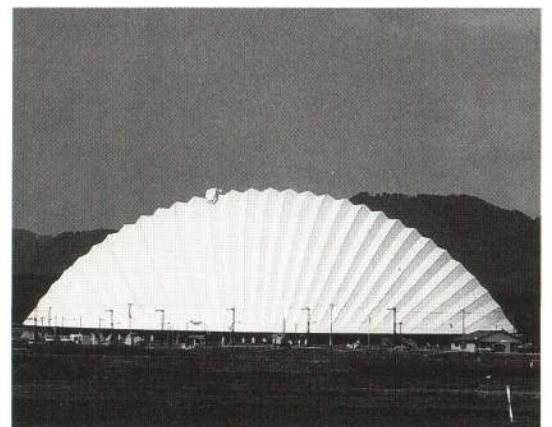
は、それについて回答をする。

また、公務に対する市民の信頼を確保することが大事であるとの認識から、職員の職務執行上の公平を保持し、市民の疑惑や不信を招かないようにするため、職員の倫理規定を制定することとしています。今後とも職員に全体の奉仕者としての自覚を促しながら、より一層の職務の執行と信頼回復に努めまいりたいと考えています。

## 大館樹海ドームの 利用状況

昨年八月にオープンしたドームは、入場者が二月十五日に二十万人を超えました。冬期利用は、個人の利用者以外は、野球、サッカー、陸上競技、ゲートボール、テニス、グラウンドゴルフなど、本来屋外で行うものが多く占めています。これは、ドームの持つ特徴を十分に発揮したものと思っています。

オープンからの利用状況は、アマチュアスポーツやレクリエーションの使用が全体の九五パーセン



トを占めています。興業や展示会などの使用が、当初見込んでいた件数を下回っていますので、今後これらの開催誘致のため宣伝活動を積極的に取り組んでまいります。

## あきた北空港 開港日決まる

私たちが心待ちにしていました、あきた北空港の開港が七月十八日に決定しました。

大館能代空港利用促進協議会では、あきた北空港からの就航予定先との交流事業として、これまで近畿秋田県人会を中心とした大阪との交流を行ってきました。しかし、新千歳空港便の就航の可能性が高いことから二月二十三日に札